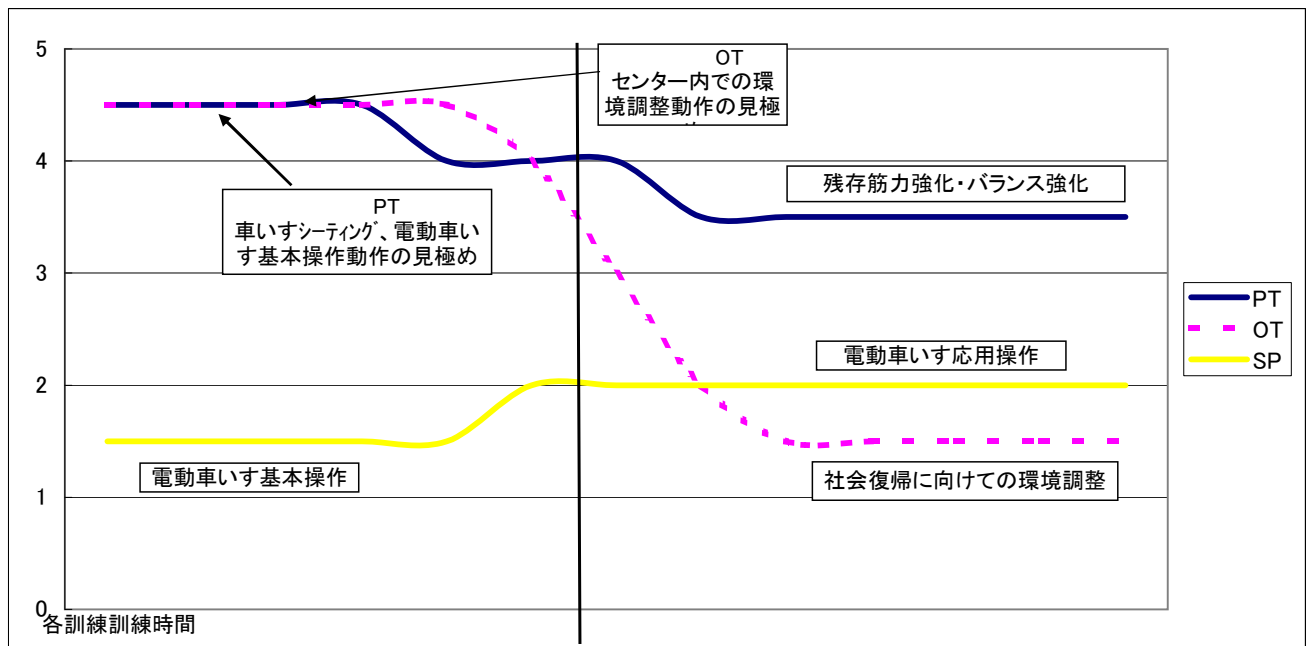


### C4不全と診断された方の内、ご自分で立つことの出来ない方

診断(ASIA)	C4不全	Zaccolliの分類	-
		フランケルの分類	C
到達目標	F	最大限条件設定をしても、かなりの介護量が必要。むしろ介護者の合わせた環境設定も多く取り入れる必要があります。	
獲得可能動作	食事:	食事支援ロボット若しくはバランスー使用での一部可能(摂食のみ)となります。	
	車いす操作:	チンコントロールにて電動車いすの操作が可能になります。一部の方はハンドハンドコントロールの使用も可能となります。12時間以上の連続車いす座位が可能となります。	
	整容:	自助具等を使用して歯磨き動作が可能(一部可能)となります。	
	更衣:	手袋を改良して着脱が可能(一部可能)となります。	
	ベッドへの移乗:	残存する下肢の筋力を利用しますが自立は困難です。	
	排尿:	収尿器の尿捨て動作が可能(一部可能)となります。	
	排便・入浴	全介助となります。	
	自動車関連動作:	自動車への乗り込み、車いすの積み込み及び運転は困難です。	
	起立:	臀部と膝を固定して立位保持が出来るようになります。わずかながら動く下肢の力を利用して移乗時の介護量の軽減を図る訓練を行います自立は困難です。	
	歩行:	困難です。	

### 利用契約から終了までの訓練進捗状況に応じた一週間の標準的な訓練時間



利用契約開始

訓練終了

※これらの時間や獲得動作は、目安であり、実際の時間や獲得動作には個人差があります。